

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

| 学校名 | 埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園 | Bグループ |
|------------|--|---|
| 項目 | 調査の観点 | 取組状況に関する所見 |
| 目指す学校像 | 目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。 | 学校の置かれた状況や幼児児童生徒の実態を把握し、学校内外の環境分析などを考慮した上で、今年度見直しが図られている。学校に寄せられる期待に十分応え、更に学校の特色や強みを生かしたものとなるように今後も検討を重ねていただきたい。 |
| 重点目標 | 学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。 | 目指す学校像を踏まえた重点目標が三つの柱として設定されている。児童生徒・学校関係者・教職員などの意見や要望を反映し、学校の取り組むべき課題が明確かつ具体的に示されており、日々の教育活動の指針となっている。 |
| 重点目標達成への取組 | 重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。 | 分掌・学年等が連携しながら目標達成を目指す体制が整えられ、「見える校内放送」など学校の特色ある取組が実施されている。学校自己評価システムが組織的かつ適切に運営されており、学校関係者の意見などがうまく活用されている。 |
| | 方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。 | 現状や課題に基づき、聴覚障害理解を深めるために学校が作成している「サポートブック」を今年度更新して新たにホームページに掲載するなど、評価項目の達成に向けた方策が策定されている。評価指標については、方策の達成状況を評価するものとは必ずしもなっていないため、取組指標と成果指標をうまく組み合わせて分かりやすいものを設定することが望まれる。 |
| | 校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。 | 学校評価運営委員会、職員会議において、校長が学校の課題等に関する教職員の共通理解を図っている。校長が状況に即して的確にリーダーシップを発揮し、課題の解決の方向を示している。目標の達成に向けて更に組織的に取り組むことが期待される。 |
| | 学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。 | 児童生徒・保護者・教職員にアンケートを実施し、年度評価や学校関係者評価などを基に、取り組むべき課題や改善策が示されている。課題や次年度への改善策を明らかにするために必要なデータとなるよう各種アンケートの工夫を進め、更に学校関係者の意見やアンケートの結果等を分析して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。 |
| 特記事項 | | |